

# 地方公共団体における 地域幸福度（Well-Being）指標の 活用推進に向けて

2023年（令和5年）3月30日

第2回デジタル田園都市国家構想実現に向けた地域幸福度（Well-Being）指標の活用促進に関する検討会

## デジタル庁

# これまでの取組で大切にしてきたこと

- **“とにかく始める”。“始めてもらう”。**手法自体は、中長期的に活用しながら徐々に確立すればよい。
- デジ田Type2/3採択団体からはじめるが、**一つでも多くの自治体・エリアでの活用を目指す。**
  - **自治体の負担感**への配慮、**ランキングへの活用防止**などの方策を講じ、適切に普及する。
  - 「何をを目指すのか」、考えながら使われるツールとなるよう、**ワークショップとともに展開する。**
- 新たなデータ項目の追加、小規模自治体等への対応方法、自治体の一部エリアへの対応、複数自治体をまたぐエリアへの対応など、様々な用途を考え、**常に指標を改善する。**

## ○基礎とするWell-Being指標

- **LWCIとして検討が積み重ねられてきた指標を基礎とし、客観的指標と主観的指標の構成**とする。
- 客観指標は、Well-Beingの構成要素（身体、社会、精神）に関わる地域の生活環境を測定する指標であって、オープンデータとして誰でも取得可能なものを中心とする
- 主観的指標は以下による構成を基本とし、これまで研究を重ねてきたアンケート質問項目を基礎とする。
  - 地域生活のWell-Being（個人因子）
  - 協調的幸福（協調因子）
  - ActiveQoL（行動因子）
  - センシユアシティ（行動因子）

## ○その他

- **エリアの考え方**
  - 最終的には、自治体単位にとらわれないことを目指す。
  - 複数の自治体エリアにまたぐものや自治体の一部エリアに限定されるものなど、暮らしを支えるサービス業の実態に合わせた設定を、中長期的には検討する。
  - 全国一律のサンプル調査を定期的実施する。
- **人材育成、コミュニティの形成**
  - 肝は、Well-Beingの状態を分析・評価することを通じて、Well-Beingの向上を目指すビジョンの醸成や、コミュニティの育成・活性化を図ること。
  - そのための人材育成、コミュニティ活動支援を強化

# アンケート調査票の簡易版の設定

- アンケートの取得が進まない自治体も一定数存在していたことから、デジタル庁から「アンケート簡易版」を例示し実施を促進した。  
※アンケート実施に際し回答者の負荷を軽減するため、「回答へのポイントインセンティブの付与」や「アンケートの設問を分割して実施する」といった工夫を行う自治体があった。また、回答数を短期間で取得するため、民間のアンケート事業者を活用する自治体もあった。
- 簡易版は40問「基本（必須）地域生活のWell-Being指標【個人因子】の30問」+「任意選択追加10問程度」とした。
- 簡易版設定により実施（予定）団体は**11団体から24団体に増加**。実施（予定含む）24団体中、**14団体が「簡易版」を活用し、令和5年2月～3月にアンケートを実施**。

## 【基本】地域生活のWell-Being【個人因子】の設問 30問

### 基本(必須) 地域生活のWell-being【個人因子】の設問 30問

- 各設問の回答形式は、「非常にあてはまる」、「ある程度あてはまる」、「どちらとも言えない」、「あまりあてはまらない」、「全くあてはまらない」の5件法です。
- 回答する地域（範囲）を定めるため、「あなたが暮らしている地域（〇〇〇）についてお答えください」と教示します。  
【注】集計時に数値を併記しています(添付資料)

ダイバーシティと調和	暮らしている地域は、文化・芸術・芸術が盛んで誇らしい 暮らしている地域では、新たな発見や刺激が得られる	精神状態	私は、精神的に健康な状態である 私は、身体的に健康な状態である
生活の利便性	暮らしている地域は、新たな発見や刺激が得られる 暮らしている地域は、日常の買い物に支障をきたさない	地域との密着性	私は、日々の生活において、実感が多い 身近な人の声援は、私の力になっている
自然の価値	暮らしている地域は、自然環境が充実している 暮らしている地域は、自然環境が豊かである	地域行政への信頼	暮らしている地域の行政は、自分にとって心地よい 暮らしている地域の行政は、自分に対して信頼している
居住空間の快適性	暮らしている地域では、自然環境を感じることができる 暮らしている地域は、自然環境が豊かである	生活スタイルの維持	暮らしている地域は、自然環境が豊かである 暮らしている地域は、自然環境が豊かである
つながりや信頼	暮らしている地域は、自然環境が豊かである 暮らしている地域は、自然環境が豊かである	過干渉と不寛容	暮らしている地域は、自然環境が豊かである 暮らしている地域は、自然環境が豊かである

## ○簡易版設定によるアンケート実施団体数の変化

採択団体	26団体（府県6、市町村20）
区分	
実施（予定）団体数 令和4年10月末日	11団体（府県0、市町村11）
実施（予定）団体数 令和5年2月1日	24団体（府県4、市町村20） ※24団体中14団体が簡易版を活用

## 【追加】自治体任意設問 10問

### 追加 10問

#### 追加推奨設問 5問

個人の主体的幸福	現在、あなたはどの程度幸せですか？（1から10点、1が最も幸せ、10が最も不幸）
地域内密着の幸福	あなたの周り（集落）の人々は、大抵において、どのくらいあなたを助けてくれますか？（1から10点、1が最も助けてくれない、10が最も助けてくれる）
自然景観	あなたの暮らしている地域は、自然環境が豊かである。どのくらい豊かですか？（1から10点、1が最も豊かでない、10が最も豊かである）
都市景観	あなたの暮らしている地域は、自然環境が豊かである。どのくらい豊かですか？（1から10点、1が最も豊かでない、10が最も豊かである）
満足度	あなたは、あなたの暮らしている地域に満足していますか？（1から10点、1が最も満足していない、10が最も満足している）

#### 任意設問 5問 ～ 以下の設問例を参考に、各自治体にて5問を設定

(参考例1) 安心安全な市民生活の実現を目指すA市の場合	(参考例2) 市町会加盟社会の実現を目指すB市の場合
A市アンケート例1 安心安全な生活に満足している	B市アンケート例1 外出時に公共交通機関を利用したいと思う
A市アンケート例2 自治体による子育て支援が充実している	B市アンケート例2 起業や創業が盛んなので、移住者が集まる事は好ましい
A市アンケート例3 行政からの情報発信が充実している	B市アンケート例3 職場や個人生活を両立する際に、住むことに苦労を感じる
A市アンケート例4 ボランティア活動をしている	B市アンケート例4 年齢に関わらず、学びの機会が充実していると思う
A市アンケート例5 私が住んでいる地域にこれからは住み続けたいと思う	B市アンケート例5 デジタル技術の活用による、暮らしやすさの向上を期待している

# Type2/3採択団体アンケート実施状況一覧

No.	団体名	実施期間	設問数	調査地域	調査対象	調査方法	配布数	有効回答数	主観指標に係る設問を選択してアンケート実施した場合、設問の選択方法	公表状況
1	北海道 江別市	令和5年2月7日～令和5年2月27日	59問 (WB設問+独自質問)	江別市内	市内在住の20-80代市民1,500人	郵送	1,500	577	委託事業者との協議による	公表予定
2	北海道 更別村	1回目: 令和4年12月1日～令和5年1月31日 2回目: 令和5年2月20日～3月13日	1回目: 全73問中73問 2回目: 全28問中28問	更別村全域	村内に居住する18歳以上の全村民	郵送	①2,500 ②2,500	①951 ②605	行動分析につながる設問となるよう配慮した。簡易版を実施	公表予定
3	福島県 会津若松市	令和5年2月15日～令和5年2月17日	76問 (WB70問+独自6問)	会津若松市内	市内在住の10-70代市民483人	WEB	-	483	簡易版を実施 WSを実施しシナリオライブラリーを作成し、対応するKPIを選定してアンケートを実施。簡易版に前段で設定したKPIに関連する20項目を追加及び7項目を独自設定	公表予定
4	茨城県 境町	令和5年3月1日～令和5年3月15日	58問 (WB設問+独自設問)	境町全域	町内に居住する18歳以上の町民2,000人	WEB及び郵送	2,000	709	委託事業者との協議により実施	未定
5	群馬県 前橋市	令和5年2月9日～令和5年3月10日	53問 (WB50問+独自3問)	前橋市全域	市内に居住する20～89歳の市民2,000人	WEB及び郵送	2,000	797	委託事業者との協議による	未定
6	埼玉県 秩父市	令和5年2月7日～令和5年2月24日	45問 (WB30問+独自15問)	秩父市全域および 横瀬町全域	①秩父市内400人、横瀬町100人 (無作為抽出) ②秩父市内及び横瀬町内の全世帯	①郵送(WEB回答も可) ②閲覧板(QRコード付) WEB回答	30,000 (①500、②29,500)	907	簡易版を実施	未定
7	富山県 朝日町	令和4年10月1日～令和4年12月9日	全問	朝日町全域	朝日町に居住する10歳以上の町民9500人	WEB (「POHUNT」の参加者)	948	300強	-	公表予定
8	石川県 能美市	令和5年2月14日～令和5年2月28日	40問 (WB38問+2問)	能美市全域	オンライン調査で能美市内在住回答者681人	WEB	686	681	簡易版を実施	未定
9	山梨県	令和5年2月13日～令和5年2月17日	簡易版 (WB30問+数問)	山梨県全域	オンライン調査で山梨県内に在住と回答した581人	WEB	623	581	簡易版を実施	公表済
10	長野県 茅野市	令和5年1月10日～令和5年1月31日	全91問中82問	茅野市全域	市内に居住する18歳以上の市民2,000人	WEB及び郵送	2,000	859		未定
11	岐阜県	令和5年3月7日	簡易版40問 (必須30問+任意10問)	岐阜県全域	岐阜県内に居住する18歳以上の県民のうちWebアンケートサイトアクティブユーザー3,400人	WEB	3,400	1,000	簡易版を実施	未定
12	静岡県 浜松市	令和4年11月25日～令和4年11月28日	150問	浜松市全域	市内居住する18歳以上の男女17,645人	WEB (モニターアンケート)	17,645	1,805	委託事業者との協議による	公表済
13	静岡県 焼津市	令和5年2月6日～令和5年2月28日	50問 (WB43問+独自7問)	焼津市全域	市内に居住する18歳以上の市民2,000人	WEB及び郵送	2,000	619	簡易版を実施	公表予定
14	三重県 多気町	令和5年2月17日～令和5年3月16日	44問 (WB40問+独自4問)	多気町、大台町、 明和町、度会町、 紀北町	各町に居住する住民 (WEB回答のため年齢や人数等の定めなし)	インターネットやSNSによるアンケート	-	295	簡易版を実施	未定
15	京都府	令和5年3月24日～令和5年3月27日	42問 (簡易版+独自12質問)	精華町域	ウエアラブル端末配布者	WEB	1,342	664	簡易版を実施	未定
16	大阪府 豊能町	令和4年12月19日～令和5年1月3日	139問	豊能町	豊能に居住する住民 (WEB回答のため年齢や人数等の定めなし)	WEB	-	24		未定
17	兵庫県 加古川市	令和4年11月16日～令和4年12月7日	全226問中108問	加古川市全域	市内に居住する18歳以上の市民6,000人 (無作為抽出)	WEB及び郵送	6,000	2,147	主観指標を網羅的に測定するため市の各部門の主要な事業をストーリー化し、各因子に関連する指標を集約し調査項目とした	公表予定
18	兵庫県 養父市	令和5年2月20日～令和5年2月28日	43問 (WB40問+独自3問)	養父市全域	養父市公式LINEに登録している者(市外住民も含む) 4,625人	養父市公式LINEにオンラインから回答できるURLを添付	4,625	210	簡易版を実施 デジ田交付金 (TYPE 2) に係る取組内容に示した「地域」、「福祉」、「人」に関する設問を抽出。	公表予定
19	岡山県 西粟倉村	令和4年11月15日～令和4年12月28日	34問 (WB13問+21問)	西粟倉村全域	15才以上の全村民	WEB及び郵送	1,200	269	専門家、サービス連携協議会での協議による	未定
20	岡山県 吉備中央町	令和4年11月7日～令和4年11月25日	72問 (簡易版)	吉備中央町全域	町内1,000世帯 (無作為抽出)	WEB及び郵送	1,000	459	簡易版を実施	公表予定
21	香川県 高松市	令和5年2月13日～令和5年2月17日	40問 (WB30問+10問)	高松市全域	スマートフォンアプリ利用者	スマートフォンアプリのアンケート機能による	37,000	1,000	簡易版を実施	公表予定
22	香川県 三豊市	令和5年1月25日～令和5年2月15日	61問 (WB46問+独自15問)	三豊市全域	市内に居住する市民328人	WEB	-	328	ワークショップ等を実施し選択	公表予定
23	愛媛県	令和5年3月1日～令和5年3月31日	簡易版 (30問)	今治市内	今治市内に居住する市民約2,200人に配布し、回収できた人	WEB及び郵送	2,200	-	簡易版を実施	未定
24	宮崎県 延岡市	令和5年2月21日～令和5年2月27日	44問 (簡易版+独自設問)	延岡市全域等	宮崎県在住者69,380人のうち延岡市在住と回答しかつ本調査に合意した人	WEB	393	393	簡易版を実施 健康・救急医療サービスのデジタル化による市民の幸福度向上について仮説設定や効果検証を行うため、幸福度向上の要因について議論し関連する独自質問項目を設定	公表予定

※群馬県は本年度新たに実施しないが同様の「県民幸福度アンケート」を実施し活用している。広島県は未実施。

# 自治体独自アンケート結果の可視化

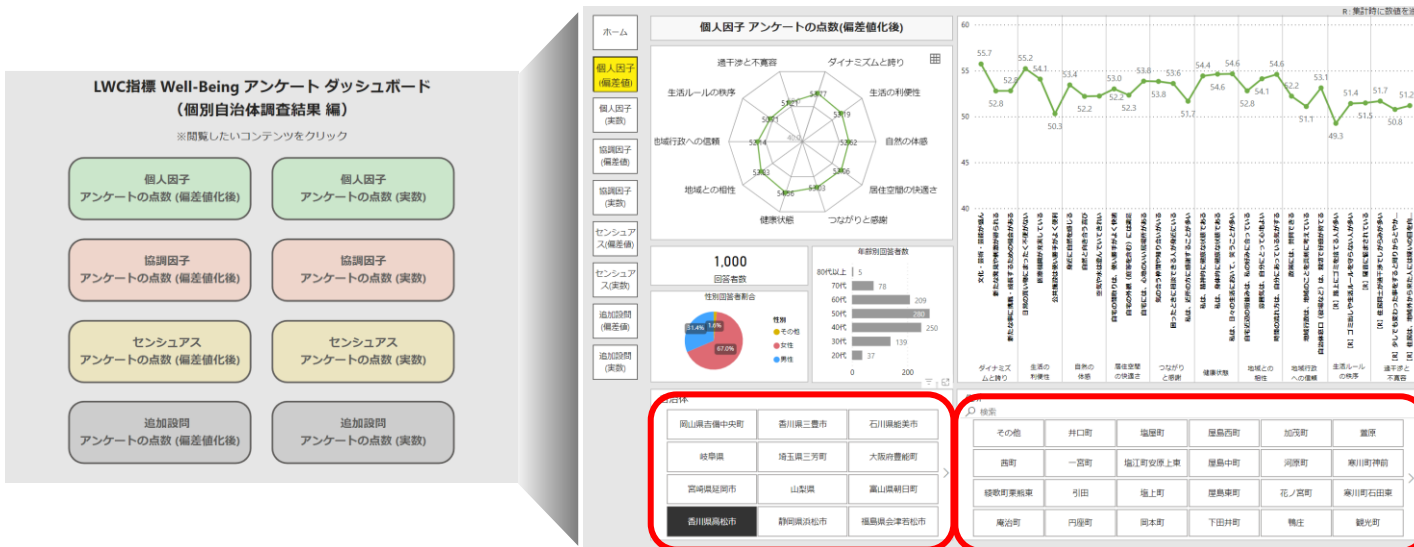
- 自治体から提出されたアンケート結果生データをWell-Being指標サイト上ダッシュボードで可視化した。
- アンケート結果はレーダーチャート（因子別）と折れ線グラフ（設問別）で表示され、誰でも閲覧可能。**自治体単位の結果に加え、自治体内の地区ごとの結果も可視化される。**
- 各自治体や関係者はこのダッシュボードを通じ**詳細に地域の特徴を把握することが可能**。把握した特徴をまちづくりに反映することでWell-Being向上の実現が加速。

<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrjoiZTM5ZWQ3MmYtZWQ0Ny00NjMyLThlMWMtN2UxNjFhZjY1Zjg3IiwidCI6IjBkMjk4MwYyLTVmNDItNDh5S04NGZlTcwMzQwN2RmYjg5OSJ9&pageName=ReportSection614790622e47320831de>



## 【主観指標アンケートダッシュボード（個別自治体調査結果編）】

例) 住所パネルの選択により自治体内の各地区の特徴を把握することが可能。



自治体選択パネル

住所パネル

R5.2月アンケートを実施した団体の結果の可視化を開始。順次、自治体を追加中。(R5.3.23時点、22団体)

回答者の絞込みを地区別に行うことが可能。地区は自治体アンケート設計による区分



# 自治体における計測結果、分析等の公表

- 計測結果や分析は各自治体ホームページ等で公表されている。アンケートデータをCSV形式等でオープンデータ化し公表する自治体もある（山梨県など）。

## 【事例①：山梨県におけるデータカタログサイトでの公表】

県データカタログサイトにアンケートのロー・データを掲載するとともに自治体ホームページに可視化したグラフも公表。

### ○データカタログサイト



[https://catalog.dataplatform-yamanashi.jp/dataset/12705\\_wellbeing2023](https://catalog.dataplatform-yamanashi.jp/dataset/12705_wellbeing2023)

秘匿措置等配慮した上でオープンデータ化しカタログに掲載



山梨県ホームページ <https://www.pref.yamanashi.jp/dx/well-being.html>

## 【事例②：会津若松市における市ホームページでの公表】

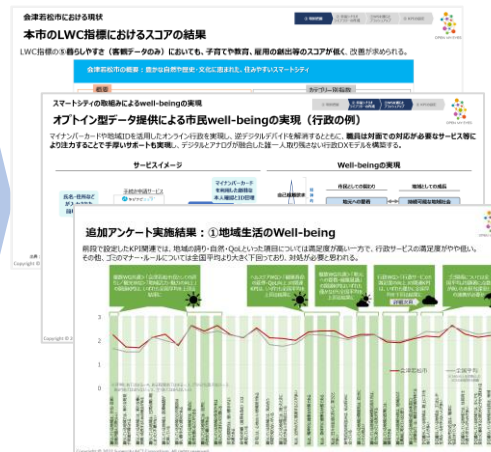
市ホームページに指標活用状況を網羅的掲載した報告書を公表。

### ○報告書



<https://www.city.aizuwakamatsu.fu.kushima.jp/docs/2013101500018/>

活用状況を網羅的に掲載



## 【事例③：浜松市におけるデジタルプラットフォームでの公表】

市民参加のためのデジタルプラットフォームを新たに構築、計測結果・分析に合わせ議論のプロセスも公表。

### ○プラットフォーム上のWell-Being指標ページで公開



<https://hamamatsu.makeour.city/>

結果等にあわせ議論のプロセスも公開



# 自治体アンケートの実施現場から上がってきた声

## ■ 回答の負荷軽減

- 負担感が回答率に影響を与えている
  - 自治体ごとにも設問項目を精査する必要性がある。
- 既に行った簡易版のリリースと運用により、ある程度解消できたか。

## ■ アンケート項目の共通化

- 「アンケートの実施方法」や「サンプルの取り方」の違いによる回答者の属性の偏りのため、アンケート結果の自治体間比較が難しい。
  - 計測結果を時系列で比較するため、継続して同じ調査手法を採用する必要性がある。
- アンケート項目の統一化や実施方法・サンプルの取り方の最低限の共通化などの方策をどこまで踏み込んで自治体に示すべきか。

## ■ 計測結果・分析等の公表

- 計測結果・分析等の公表は一部の自治体のみが実施。その方法もまちまち。
- 公表用のツールを統一的に準備する必要があるか。他方、独自の分析や発表も重要か。

# Well-Being指標サイト機能概要

- 客観指標のダウンロード、主観指標を計測するためのアンケートの実施、これらの結果の分析・公表を、誰でも容易に、よりわかりやすく作業できるよう、新たにサイトを立ちあげる

## 現行サイト

データの収集・可視化・分析に手作業が発生

### ■ 客観指標

- ・利用者はExcel VBAファイルをダウンロード
- ・Excelを操作することでデータの収集・可視化
- 自治体によってはファイルをうまくダウンロードできない場合がある。

### ■ 主観指標

- ・アンケート調査票はダウンロードして活用
- ・アンケート結果のアップロード機能はない
- アンケートの実施・回収・データ整理などの作業が発生。

### ■ 計測結果

- ・アンケートダッシュボードで結果をグラフに可視化
- 画面上でグラフを並べた比較等ができない。
- ・PowerPointのテンプレートをダウンロード
- 分析結果は手作業で資料化。

### ■ 回答者等からの問合せ

- ・メールでのみ受付

<https://www.digital.go.jp/news/26c0d00b-6625-4e77-8b53-cebcb76a268/>



各ユーザーごとにマイページを整備

## 新サイト

データの収集・可視化・分析をシステム上積極的に支援

### ■ 客観指標

- ・利用者が必要なデータセットをダウンロードし、取り扱うことができるマイページを開設。統計データの収集・可視化などの作業をシステム上支援。
- より簡易に収集・可視化が可能。

### ■ 主観指標

- ・サイト上でもアンケート実施できる機能の追加を検討する。
- ・サイト上にアンケート結果をアップロードできる機能を開設
- アンケート実施・回収事務を合理化。

### ■ 計測結果

- ・マイページ内のダッシュボード機能でグラフが可視化
- ・分析結果資料もサイト上での作成を支援
- 任意の地域や全国平均との比較など、オーソドックスな分析評価はマイページ内で可能に。データの更新も反映され、定期モニタリングが可能。

### ■ 回答者等からの問合せ

- ・問い合わせフォームを設置。また入力項目を指定し問合せ後の対応をスムーズにする。



# これまでの取組を踏まえた本日の議論ポイント

## ■ アンケート票の改善

既に実施した簡易版（40問ベース）を、今回の調査結果を踏まえ、どう改善していくべきか。

## ■ 分析手法の研修

計測結果の分析方法に関する自治体職員研修等をどう進めていくべきか。

## ■ 複数自治体にまたがるエリアへの対応

複数の自治体エリアにまたがる指標の活用に向け、計測や分析をどのように進めるべきか。

## ■ 調査実施エリアの拡大

Type2/3採択団体以外の自治体での実施に向け、どのような対応を取るべきか。TypeX採択団体にも推奨か。

※TypeX・・・マイナンバーカード利用横展開事例創出型

## ■ 提供データの改善

都道府県単位や小規模自治体のデータについてどのように改善を進めていくべきか。

## ■ データの公開時のルール

データを公開するにあたり、引用元の付記、データ取得日時の記載等データ利用に関し、どのようなルールを求めて行くべきか。

## ■ 計測結果・分析等の公表

公表用のツールを統一的に整備すべきか。公表をどのような形で求めるべきか。

## 参考

### 【採択結果】

デジタル実装タイプ：

マイナンバーカード利用横展開事例創出型

TYPE2/3



# マイナンバーカード利用横展開事例創出型の採択結果

- マイナンバーカードの普及率が高い団体（※2023年1月末時点でMNC申請率7割以上）における全国への横展開モデルとなるマイナンバーカード利用の先行事例を支援
- 採択事業件数（団体数）は52件（団体）、採択金額（国費）は約87.6億円

## <採択結果>

採択事業件数	<b>52件</b> 都道府県 1件、市町村 51件
採択金額 (国費)	<b>87.6億円</b> 都道府県 6.5億円、市町村 81.1億円

・一部自治体では計画書上に指標の活用を明記。  
・各エリアのWell-Being向上に向け、その他採択団体にも積極的な指標活用協力を促進。

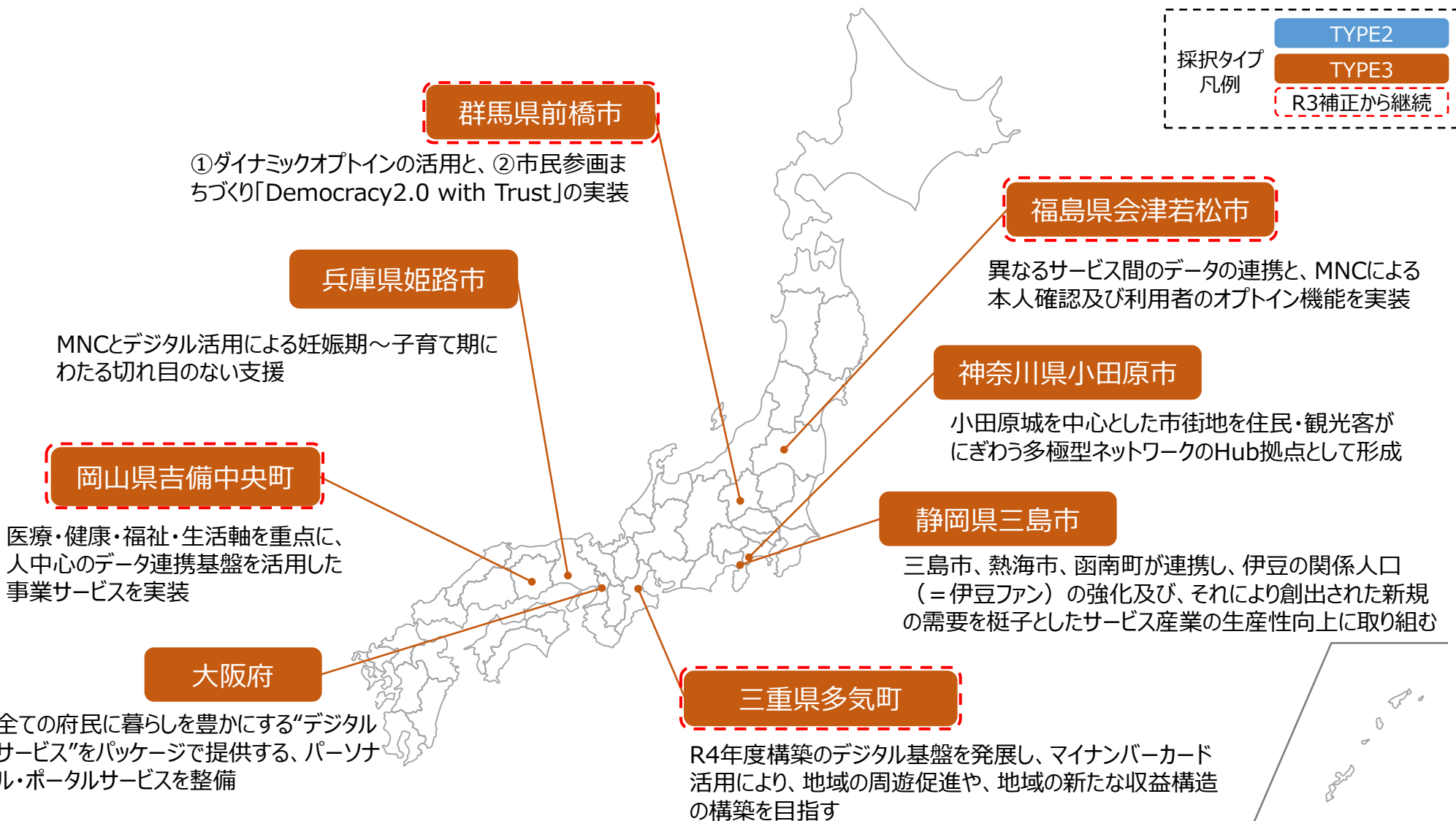
凡例 R3補正Type2/3から継続団体

## <都道府県別 採択団体数・事業件数>

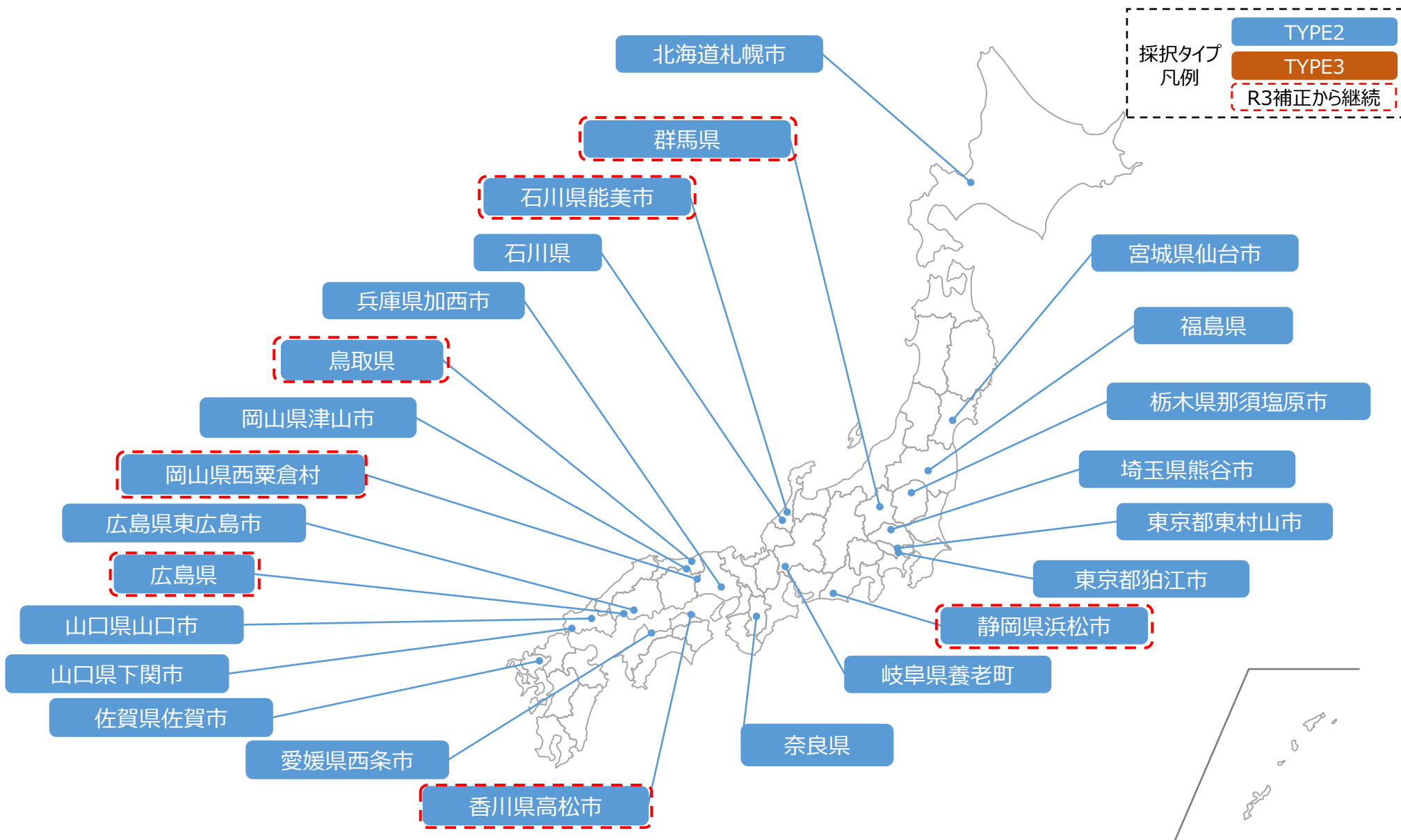
北海道	3団体 4.4億円	三笠市、留寿都村、 <u>更別村</u>	長野県	1団体 1.6億円	南牧村	香川県	1団体 0.5億円	坂出市
青森県	1団体 1.5億円	むつ市	岐阜県	2団体 2.4億円	美濃市、下呂市	愛媛県	2団体 7.7億円	<u>愛媛県</u> 、新居浜市
山形県	4団体 3.6億円	長井市、西川町 大蔵村、飯豊町	静岡県	2団体 1.5億円	<u>浜松市</u> 、御前崎市	高知県	1団体 3.0億円	宿毛市
福島県	1団体 0.8億円	昭和村	愛知県	1団体 3.0億円	日進市	福岡県	1団体 1.0億円	豊前市
茨城県	3団体 3.8億円	つくば市、五霞町、 <u>境町</u>	大阪府	1団体 3.0億円	<u>豊能町</u>	佐賀県	2団体 2.0億円	基山町、有田町
群馬県	3団体 4.0億円	<u>前橋市</u> 、上野村、長野原町	兵庫県	6団体 8.4億円	神戸市、洲本市、三田市 <u>養父市</u> 、猪名川町、多可町	長崎県	1団体 2.6億円	大村市
新潟県	3団体 4.0億円	弥彦村、阿賀町、粟島浦村	鳥取県	1団体 3.0億円	米子市	熊本県	2団体 3.7億円	熊本市、南阿蘇村
富山県	2団体 4.2億円	立山町、 <u>朝日町</u>	島根県	1団体 2.5億円	美郷町	宮崎県	3団体 7.7億円	都城市、 <u>延岡市</u> 、都農町
石川県	2団体 3.8億円	珠洲市、加賀市	岡山県	1団体 1.7億円	<u>備前市</u>	鹿児島県	1団体 2.1億円	薩摩川内市

# デジタル実装タイプ：TYPE3の採択結果

- 採択事業件数（団体数）は32件（団体）R3補正採択団体と合わせのべ59団体（実団体数48団体）に拡大。



# デジタル実装タイプ：TYPE2の採択結果



# Appendix

# 地域幸福度（Well-Being）指標に関するこれまでの取組

## これまでの取組

- デジタル田園都市国家構想の目指す「心ゆたかな暮らし」（Well-Being）と「持続可能な環境・社会・経済」（Sustainability）の実現に向けた取組の指標として、デジタル田園都市国家構想の実現に向けて、行政だけでなく産官学、市民を含めた様々なプレイヤーの協力を引き出すツールとして地域幸福度（Well-Being）指標を活用。
- 2022年7月1日に、これまでの検討結果を踏まえた客観指標（22因子93KPI）、主観指標（アンケート項目160問）により構成される地域幸福度（Well-Being）指標を公開。  
URL <https://www.digital.go.jp/news/26c0d00b-6625-4e77-8b53-cebcba76a268/>
- 令和3年度補正デジタル田園都市国家構想推進交付金デジタル実装タイプType2/3採択団体において、地域幸福度（Well-Being）指標を活用。
- 活用促進のために以下の取組を実施
  - ・自治体向け説明動画「デジタル田園都市におけるWell-Being指標の活用について」公開。  
URL（前編） <https://www.youtube.com/watch?v=QozDeawWK9k>  
（後編） <https://www.youtube.com/watch?v=kyYtU931jng>
  - ・2022年7月 デジタル田園都市国家構想におけるWell-Being指標活用に係るオンライン説明会を開催。  
URL（アーカイブ動画公開中） [https://www.youtube.com/watch?v=xaygfwD\\_zPo&t=15s](https://www.youtube.com/watch?v=xaygfwD_zPo&t=15s)
  - ・デジタル庁職員による伴走支援など自治体への個別対応を実施するとともに、客観指標の計測・分析の手順書送付等地域幸福度（Well-Being）指標活用を促進。

# 地域幸福度（Well-Being）の主観指標アンケート簡易版40問

## 【基本】地域生活のWell-Being【個人因子】の設問 30問

### 基本（必須）地域生活のWell-being【個人因子】の設問 30問

- 各設問の回答形式は、「非常にあてはまる」、「ある程度あてはまる」、「どちらとも言えない」、「あまりあてはまらない」、「全くあてはまらない」の5件法です。
- 回答する地域（範囲）を定めるため、「あなたが暮らしている地域（〇〇〇）についてお答えください」などと教示します。

ダイナミズムと誇り	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい
	暮らしている地域では、新たな発見や刺激が得られる
	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある
生活の利便性	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない
	暮らしている地域は、医療機関が充実している
	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である
自然の体感	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる
	暮らしている地域には、自然に向き合う喜びがある
	暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいと感じる
居住空間の快適さ	自宅の間取りは、使い勝手がよく快適である
	自宅の外観（庭等を含む）には満足している
	自宅には、心地のいい居場所がある
つながりと感謝	暮らしている地域では、気の合う仲間や知り合いが多い
	暮らしている地域では、困ったときに相談できる人が身近にいる 私は、近所の方に感謝することが多い

【逆】- 集計時に数値を逆転しています(逆転項目)

健康状態	私は、精神的に健康な状態である
	私は、身体的に健康な状態である
	私は、日々の生活において、笑うことが多い
地域との相性	自宅近辺の街並みは、私の好みに合っている
	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい
	暮らしている地域の時間の流れ方は、自分にあっている気がする
地域行政への信頼	暮らしている地域の政策には、賛同できる
	暮らしている地域行政は、地域のことを真剣に考えていると思う
	暮らしている地域の自治体窓口（役場など）は、親切で好感が持てる
生活ルールの秩序	【逆】暮らしている地域は、路上にごみを捨てる人が多い
	【逆】暮らしている地域は、ゴミ出しや生活ルールを守らない人が多い
	【逆】自宅の近辺は、騒音に悩まされている
過干渉と不寛容	【逆】暮らしている地域では、住民同士が過干渉でしがらみが多い
	【逆】暮らしている地域では、少しでも変わった事をすると周りからとやかく言われる 【逆】暮らしている地域の住民は、地域外から来た人に対して疑いの目を向ける



## 【追加】自治体任意設問 10問

### 追加 10問

#### ■ 追加推奨設問 5問

個人の主観的幸福	現在、あなたはどの程度幸せですか？「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか？いずれかの数字を1つだけ選択してください。
地域内他者の幸福	あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、いずれかの数字を1つだけ選択してください。全く分からない場合には「x」を〇で囲んでください。ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。
自然景観	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある。「強く思う」を5点、「ある程度思う」を4点、「どちらとも言えない」を3点、「どちらかというと思わない」を2点、「全く思わない」を1点として、いずれかの数字を1つだけ選択してください。
都市景観	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある。「強く思う」を5点、「ある程度思う」を4点、「どちらとも言えない」を3点、「どちらかというと思わない」を2点、「全く思わない」を1点として、いずれかの数字を1つだけ選択してください。
満足度	私は、住んでいる地域の暮らしに満足している。「強く思う」を5点、「ある程度思う」を4点、「どちらとも言えない」を3点、「どちらかというと思わない」を2点、「全く思わない」を1点として、いずれかの数字を1つだけ選択してください。

#### ■ 任意設問 5問 ～ 以下の設問例を参考に、各自治体に5問を設定

##### （参考例1）安心安全な市民生活の実現を目指すA市の場合

A市アンケート例1	安心した食生活に満足している
A市アンケート例2	自治体による出産・子育て支援が充実している
A市アンケート例3	行政からの情報発信が充実している
A市アンケート例4	ボランティア活動をしている
A市アンケート例5	私が住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う

##### （参考例2）市民参加型社会の実現を目指す政令指定都市B市の場合

B市アンケート例1	外出時に公共交通を利用したいと思う
B市アンケート例2	起業や創業が盛んになり、移住者が増える事は好ましい
B市アンケート例3	環境にやさしい生活を実現する街に住むことに誇りを感じる
B市アンケート例4	年齢を問わず、学びの機会が充実していると思う
B市アンケート例5	デジタル技術の活用による、暮らしやすさの向上を期待している